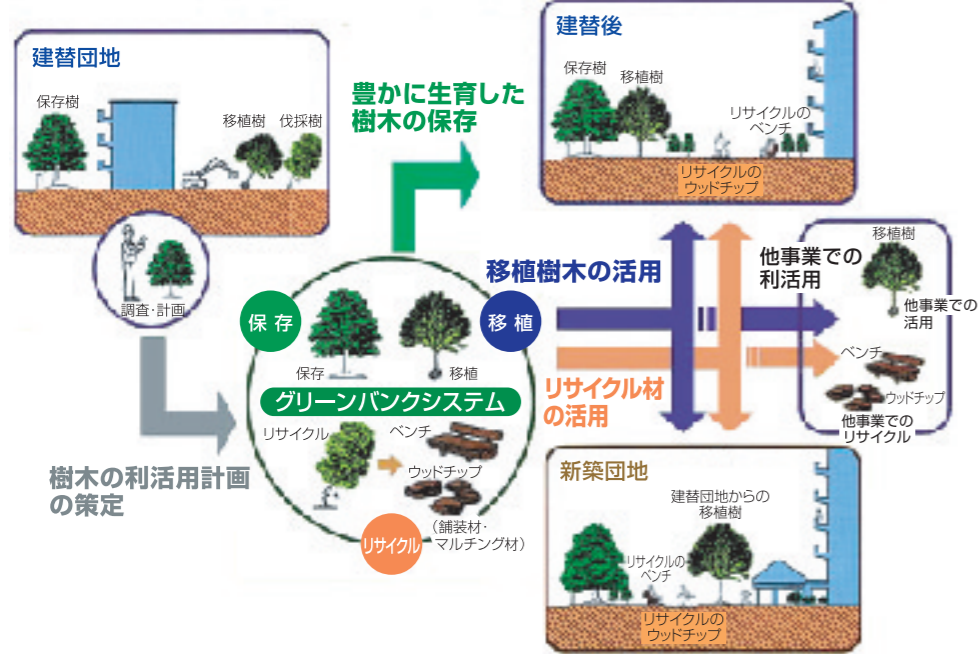


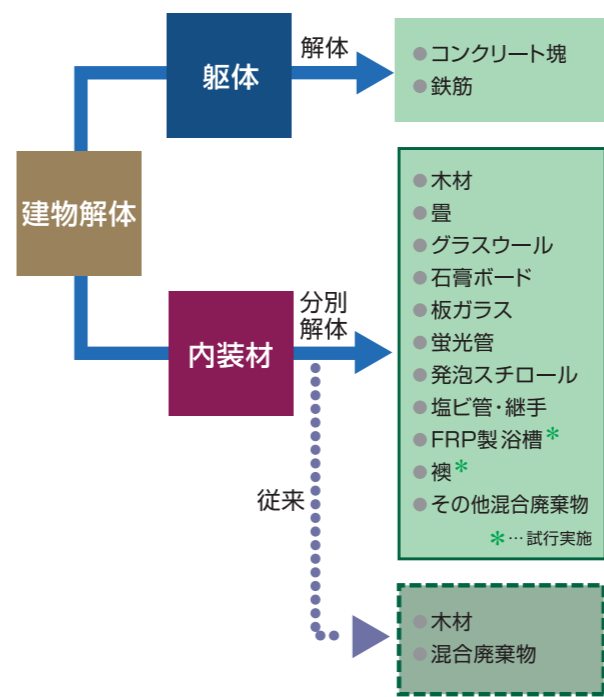
グリーンバンクシステムのしくみ



樹の心を次の世代に伝える
グリーンバンクシステム

グリーンバンクシステムとは、建替団地などで長年育まれてきた豊かな緑環境や、美しい景観を継承していくため、緑の資産を様々な事業で統合的に有効活用するシステムです。保存・移植・リサイクルなどによって、環境負荷の低減と都市環境インフラ形成を図り、地域で愛されてきた風景と、団地にお住まいの皆さまの思いがこもった緑を、次の世代へと伝えていきます。

UR都市機構におけるリサイクルの流れ



循環型社会経済システムの構築をめざすが国において、産業廃棄物全体の最終処分量の20%程度を占める建設産業は、先導的にリサイクル推進に取り組むことが求められ、UR都市機構としては建替事業において建設廃棄物のリサイクルに全国規模で取り組んでいます。

建設リサイクル法平成12年5月施行)で再資源化が義務づけられている「特定建設資材」(コンクリート、アスファルトコンクリート、建設発生木材)については、ほぼ100%達成し、現地団地内で再生し自ら再利用を行う「コンクリート塊リサイクルシステム」も導入可能な団地で実施しており、CO₂の削減にも貢献しています。

また内装材は、従来は混合廃棄物として大半が埋立てて最終処分されてきましたが、平成13年から石膏ボード、塩化ビニル管、蛍光管など9品目に細分化し、分別解体・回収して最終処分量の削減に取り組んできました。平成18年からはさらなる削減に向けて、いままで廃棄物だったFRP繊維強化プラスチック製の浴槽や襖の再資源化にも試行的に取り組んでいます。

混ぜればゴミ 分別すれば資源

ゼロエミッションへの挑戦

ゼロエミッション
循環型社会の実現のため、産業を中心に廃棄物やゴミをゼロにし、完全な再生利用を図ること



グリーンバンクシステムを活用した事例



躯体再利用の流れ

